

会長

幹事長

会計

志清会は、あきる野市議会で志を同じくする9名の議員による政策グループです。



ほりえ たけし  
堀江 武史 (42)  
▽ 淵上 4回



むらの えいち  
村野 栄一 (53)  
▽ 二宮東 2回



なかむら かずひろ  
中村 一広 (52)  
▽ 油平 1回



こごもり としひと  
子籠 敏人 (47)  
▽ 菅生 3回



あまの まさあき  
天野 正昭 (63)  
▽ 小和田 2回



なかじま ひろゆき  
中嶋 博幸 (54)  
▽ 留原 2回



くぼしま せいいち  
窪島 成一 (65)  
▽ 平沢 1回



ひはら しょうご  
日原 省吾 (55)  
▽ 野辺 1回



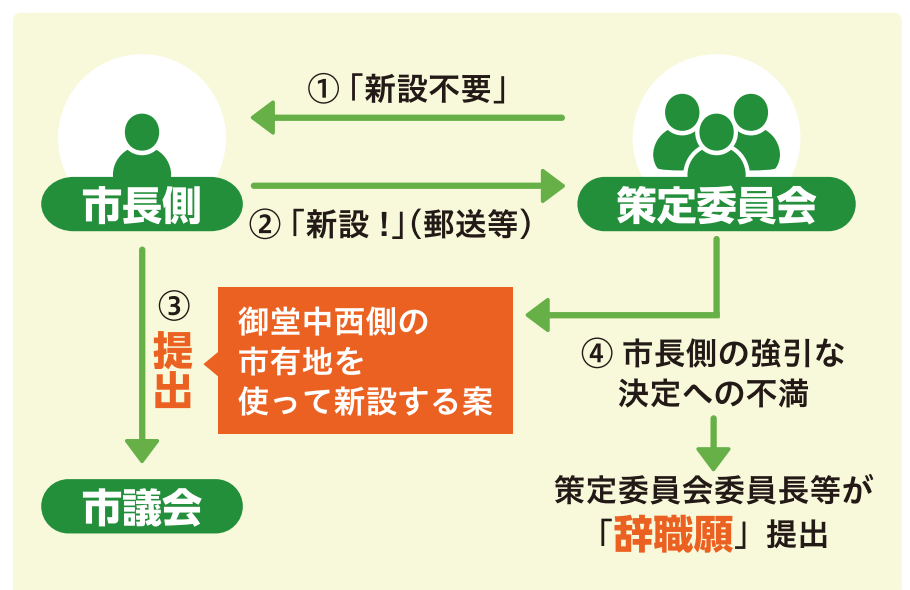
うすい けん  
臼井 建 (51)  
▽ 秋留 1回

## 「新たな特養は不要」市民の声を無視！「市長の介護保険事業計画」が進行中！

現在策定中の介護保険事業計画について、市長は福祉関係者や被保険者で構成される策定委員会の「新たな特養は不要」という意見を尊重せず、別の案に書き替えて「新たな特養建設」を市議会へ提出しています。この**市長側の強引な判断に策定委員会委員長等が辞職願を提出する**という極めて異例の事態となっています。

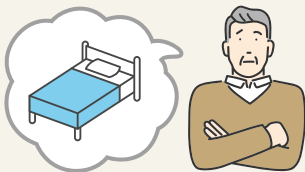
市議会でも新たな特養建設について再協議をお願いしましたが**市長はこれに応じず「新たな特養建設について計画を実施する」**旨策定委員会の多くの方々へ**一方的に郵送等で通知**しました。

介護保険法 117 条 6 項「あらかじめ、被保険者の意見を反映させるために必要な措置を講ずるものとする。」に沿わないという見方もあり、策定委員会側からは疑問の声もあがっています。



## 特養不要の理由

Q. 入居できるか不安。  
ベッド数は足りてるの？



A. 以前は入居待ちが社会問題でした。しかし、現在では区部で不足が見られるものの、施設建設が進み市内の施設においては**区部からの利用者は減少傾向**にあります。  
平均1～3ヵ月で入居可能な状況です。

Q. 空きが無く「待機者が多い」って聞くけど？



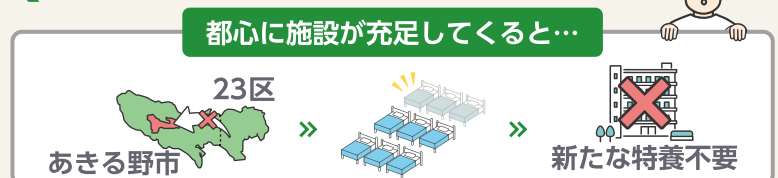
A. あきる野市の特養のベッド数は計1,320床、市民利用者は325人で、**概ね2割利用**しています。以下、施設整備計画では区部を含むベッド数増加が予定されており、**今後の待機者は解消していくと予想**されます。  
【東京都整備目標】2020年度50,500床  
2021年度53,000床、2025年度62,000床

Q. これから高齢者は年々増えるけど市民は入居出来るの？



A. 【2040年の要介護3以上認定の推計(現在値より算出)】  
・介護度3以上人数 ▶ 226人増  
・特養老人ホーム利用者 ▶ 73名増(571名)  
・上記のうち、市内施設利用者 ▶ 49名増(373名)  
上記のことから、**区部からの入居減少に伴い利用可能な見込みが高くなります。**

Q. 施設が多いので安心して大丈夫？



A. 現在、区部で施設が増加した結果、あきる野市への流入が減少している事実もあり、今後も区部からの利用者減少が十分予想されます。これらの実態と予測の背景から、**市内への新たな特養建設は財務や人材などを含めた経営的側面からも、市として未来に多くのリスクを生じさせる恐れがある**ことが考えられます。

# 介護保険事業計画の進行状況

志清会では、何度も新たな特養建設について再考するよう要請してまいりました。  
しかし、市民の声を無視して新たな特養建設を実施しようとしています。

2019.10 市長側が**特養誘致を都知事へ要望**

↓ これを受けて…

2019.12 市議会で特養誘致反対等の陳情が可決

2020.12.10 策定委員会で**「特養不要の素案決定」**

**しかし** 市長が特養建設へ書き換える意向のため  
策定委員会委員長等が**「辞職願」**提出

2020.12.17 市議会本会議で「市長への問責決議」が可決

2021.1.13 市議会本会議で「策定委員会との再協議を求める決議」が可決

市長 **「再協議の考えはない」** → 市長は再協議を受け入れず

2021.1.14 市は**「特養新設へ素案を修正」**し、福祉文教委員会へ報告

2021.1.20 市は市民への意見募集を実施(～2/2)

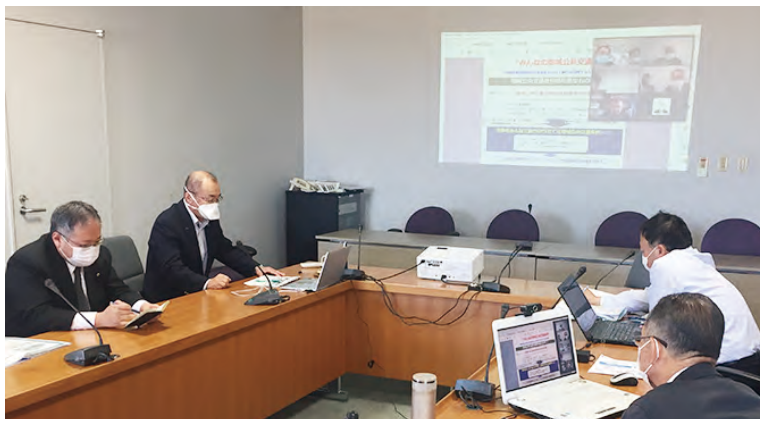
**特養不要の意見 188件**  
**特養必要の意見 55件**

2021.2.20 策定委員会は、介護業界で今後も深刻化する人材不足による経営不振等を理由に**「原案の内容(特養不要)で再度市へ提出」**を決定  
市が案を変更する場合、策定委員のうち7名が**「計画案名簿への記載を拒否」**すると申し出た

## 「新しい議会様式」を目指して オンライン視察・岐阜市視察

新型コロナウイルスの影響で、市民が「新しい生活様式」を求められる中、「議会のやり方もそのままで良い」という訳はありません。まさに地方議会も「新しい議会様式」で時代に即したやり方に変えていかなければなりません。

これら「デジタル化」の波の中、志清会は全国の先駆的な手法を積極的に取り入れ、このコロナ禍でもしっかりと情報収集や市民への発信を行っていきます。



### 「デジタル化」の波を取り入れたオンライン視察

どのような状況下にあっても的確に政策提言を行っていくためには、全国の先進事例を調査し、現地の実態についての視察やヒアリングは欠かせません。

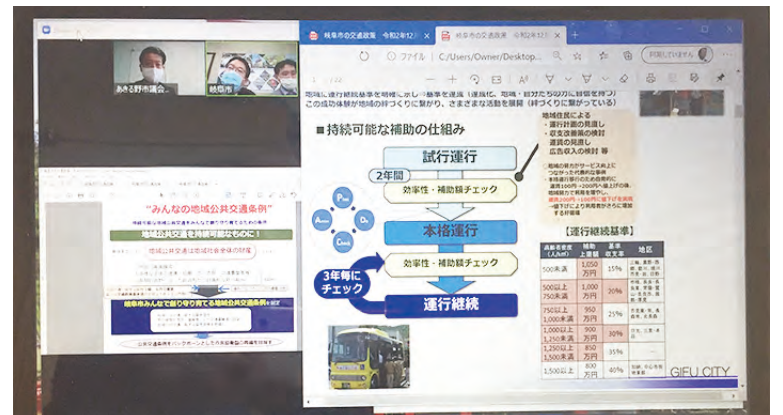
しかし、コロナ禍では先進地への視察調査は、なかなか難しいのが現状です。そこで志清会では、オンラインを活用した現地と中継を結んでヒアリングを行う「**オンライン視察**」を開始しました。

初の視察は岐阜市と結び、公共交通政策について様々なヒアリングを行いました。志清会では今後も「オンライン視察」を様々なことに役立てて行きたいと思っております。

### 「持続可能な公共交通の体系をヒアリング 岐阜市視察」

初のオンライン視察となった岐阜市へのヒアリングでは、岐阜市が取り組んでいる「**市民みんなで支える持続可能な地域公共交通の体系**」について伺いました。

岐阜市ではバスなどの地域公共交通を維持していく仕組みとして、市民と協働して地域ごとにコミュニティバスを運行しているほか、「**岐阜市みんなで創り守り育てる地域公共交通条例**」という独自の条例を作り、市民みんなが積極的に地域公共交通に乗って支えるというまちづくりも進めています。



## コロナワクチン接種の実施に向けて市へ要望



賛成討論をした  
村野 栄一がご紹介いたします。

2月3日、臨時議会において、**市内医療従事者へのコロナワクチン接種についての予算**(約1億500万円:病院等への予防接種委託、相談・予約等を行うコールセンターの設置等の費用)を可決しました。

私たちは予算審議において、

① **接種を希望する市民へ行き渡るように準備すること**

② **接種に不安をもつ方への配慮を行うこと**  
などを市へ要望しました。

今後も引き続き、ワクチン接種の早期実施や予算確保などを含め、全力を挙げて要望活動を行ってまいります。



＼ コロナ対策に関すること等、志清会の議員にお気軽にご相談ください ！

政策・活動はホームページでもご覧いただけます。

**自由民主党 志清会**

お問い合わせ先

☎ 070-4342-6863

志清会

<https://www.akiruno-jimin.tokyo/>

検索

